

松山駅周辺デザインコンセプト - 地域の素材 -

中予

**【駅西側】**

**瀬戸内の多島美**  
  
 大小 30 以上の島々からなる瀬戸内諸島

**松山総合公園**  


**生活感ある街並み**  
  
 細街路沿道に低層住宅が多数立地

**長屋門**  
  
 ・豊かな農家の面影を残す風景  
 ・民家建築の基本素材は、ジマツ（国産材のマツ等）、スギ、栗（土台）など。外壁は腰板壁・上部漆喰が主。  
 ・前面道路（主に南側）に水路があったり、蔵がセットになっている箇所も存在。

**大宝寺**  
  
 本堂は県内最古の木造建築（国宝）

**【駅東側】**

**松山城**  
  
 ・空間形状：同心円状（堀、郭）と松山城の中心性、古町と番町の両面性（正面が二つ）、大手町通り（メインストリートの一つ）  
 ・素材：水（堀）、土塀、植栽（マツなど）、石垣、瓦、塀、木、漆喰等

**道後**  
  
 上/湯玉をモチーフとした装飾  
 下/日本最古の湯釜

**城郭と近代が混在する街並み**  


**愚陀仏庵**  
  
 ※全壊前

**萬翠荘**  
  
 フランス風洋館（重要文化財）

**石手寺**  
  
 二王門（国宝）

東予

**菊間瓦**  
  
 (飛鳥乃湯泉 浴室/行燈)

**桜井漆器**  
  
 (飛鳥乃湯泉 個室休憩室/壁面装飾)

**伊予水引**  
  
 (飛鳥乃湯泉 個室休憩室/壁面装飾)

**西条だんじり彫刻**  
  
 (飛鳥乃湯泉 個室休憩室/壁面装飾)

**伊予黄**  
  
 (飛鳥乃湯泉 特別浴室/御簾)

**今治タオル**  
  
 (飛鳥乃湯泉 個室休憩室/壁面装飾)

**周桑手すき和紙**  
  
 (飛鳥乃湯泉 個室休憩室/壁面装飾)

**二六焼**  
  
 (飛鳥乃湯泉 エントランス/壁画)

**太鼓台刺繍飾り幕**  


**伊予手すき和紙**  


**【駅東西共通】**

**太山寺**  
  
 1305年に再建された本堂は国宝、仁王門は国の重要文化財

**鑄物**  
  
 ロープウェイ通りエントランス

**ツバキ(市花)**  


**俳句**  


**和釘**  
  
 (飛鳥乃湯泉 エントランス/壁画)

**伊予かすり**  
  
 (飛鳥乃湯泉 エントランス/のれん)

**伊予竹工芸品**  
  
 (飛鳥乃湯泉 大広間休憩室/行燈)

**砥部焼**  
  
 (飛鳥乃湯泉 浴室/陶板壁画)

**姫てまり**  


**姫ダルマ**  


南予

**大洲和紙**  
  
 (飛鳥乃湯泉 大広間休憩室 /シェード・照明)

**和ろうそく**  


**下駄(桐下駄)**  


**宇和島牛鬼張り子**  


**節句鯉幟**  


**棕櫚細工**  


**筒描染**  
  
 (飛鳥乃湯泉 浴室/行燈)

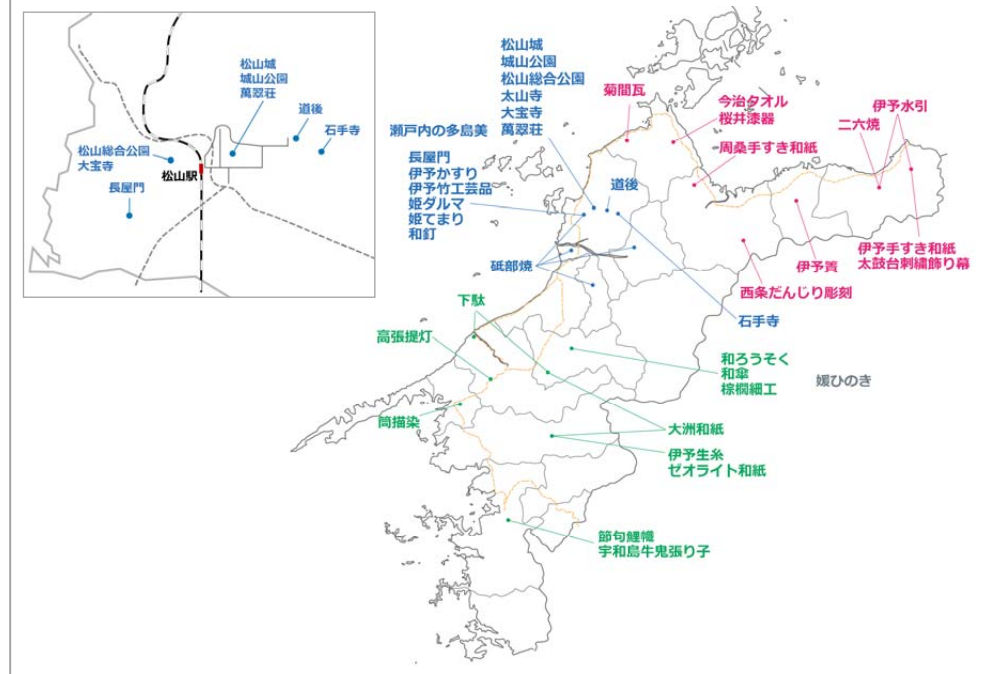
**和傘**  


**伊予生糸**  


**高張提灯**  


**ゼオライト和紙**  
  
 (飛鳥乃湯泉 エントランス/シェード)

**媛ひのき**  
  
 (飛鳥乃湯泉 個室/露天風呂壁面演出)



出典：「えひめの伝統的特産品」（愛媛県）、道後温泉 HP、松山市関連 HP、いよ観ネット、松山駅周辺拠点地区まちづくりガイドラインなど



# 松山駅周辺デザインコンセプト - 他事例 -

## 富山駅

### 〈駅周辺整備事業のコンセプト〉

- 基本テーマ：～ 次の100年に受け継げる駅フロント整備 ～
- ◇ 基本方針1：県都富山の新たな顔をつくる
  - ・富山の歴史や自然を活かして駅舎・駅広をデザインし、良好な景観を形成。
- ◇ 基本方針2：多彩な公共交通を快適につなぐ
  - ・駅南北が一体化し、公共交通がコンパクトにつながる安全・快適な駅及び駅前広場を整備。
- ◇ 基本方針3：都市拠点としての機能をそなえる
  - ・高架下等を活用し、広域商業、文化交流、業務等の都市機能を充実。

### 〈駅舎デザイン〉

“立山あおぎ 心ときめく 光の舞台” - 静謐な雪にたたずむ木立の駅 -

- ・富山らしさを、立山杉の木立のたたずまいと雪のイメージを中心にデザイン
- ・縦ラインと白色系を基調とし、雪の立山連峰、立山杉の木立をイメージ
- ・ホームの独創的な白い柱を雪の立山杉の木立に見立て、ガラススクリーン越しにドラマチックに見せる



出典：(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構



出典：(公財) 日本デザイン振興会

南口広場

駅北口

## 徳山駅

### 〈駅周辺のまちづくりコンセプト〉

～ 海と緑に包まれ、人がいきいきと輝くまち にぎわいの交流ステージの創造 (元気発信の拠点づくりに向けて) ～

### 〈駅前広場の整備コンセプト〉

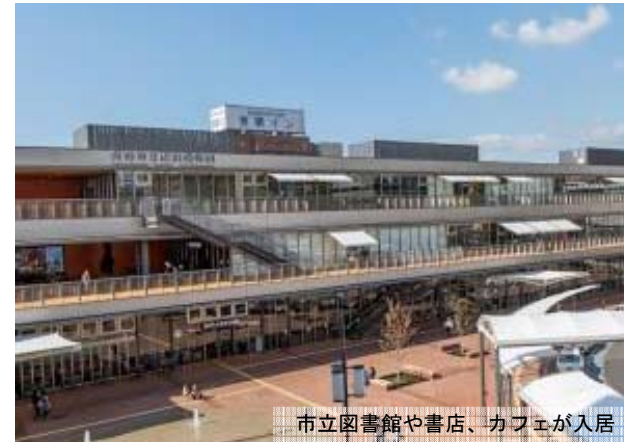
【北口】～ 人への優しさと緑の美しさに包まれた 誰もが安心して安全に利用できる にぎわいの拠点 ～

【南口】～ 海・港への誘いを演出する 新幹線駅としてのイメージづくり ～ ※整備中

### 〈駅ビルのコンセプト〉

- ◇ このまちへ来る人へのおもてなしの場
- ◇ このまちに住んでいる人たちの居場所
- ◇ 人が集い楽しむこのまちの賑わいと交流の場

松山駅同様、駅の北側(繁華街)と南側(港)で地区特性が異なる。



出典：周南市 HP

駅北口



出典：国土交通省 HP

北口広場

## 延岡駅

### 〈駅周辺整備方針〉

- ・市民活動のステージとしての駅づくり
- ・延岡を発信する駅づくり
- ・ユニバーサルデザインに配慮した駅づくり
- ・まちのリビングとしての駅づくり
- ・東西のまちをつなぐ駅づくり
- ・安心・安全な駅づくり
- ・利用しやすい駅づくり

### 〈駅舎デザイン〉

- ・既存駅舎のデザインを踏襲。



出典：延岡市駅前複合施設 エンクロス

## 姫路駅

### 〈駅前広場のデザインコンセプト〉

～ 城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場 ～

### 〈施設デザインコンセプト〉

～ 城を感じる優美な現代和風 ～



「門」をイメージした展望デッキ



駅北口

駅前の大手前通りを挟んで姫路城天守を眺望

出典：姫路市 HP

### 参考：安曇野ちひろ美術館

建物の切妻屋根の形状が、背景の山と合わさって一体感を創出



出典：安曇野ちひろ美術館 HP

### 参考：サインフォント



隷書体



ゴシック体



明朝体 (ヒラギノ明朝体)



松山駅周辺 整備方針（松山駅広場等整備基本計画案より）

整備方針

（１）駅東西の性格を踏まえた交通結節機能の強化

- ・東西広場への適切な施設配置
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン
- ・車両動線の分離
- ・便利で安全な歩行者動線の確保
- ・将来的なモビリティ変化への対応
- ・サイン・情報システムの導入

（２）県都の玄関口らしさを多面的に持つ  
高質な空間の創出

- ・象徴的な見通しの確保
- ・緑の連続性の創出
- ・伝統素材や地産材の活用
- ・おもてなしの空間づくり

（３）駅まちの拠点の形成

- ・駅とまちをつなぐ広場の形成
- ・交流拠点・居場所の創出
- ・自転車・歩行者ネットワークの形成

（４）非常時に備えたオープンスペースと  
情報提供機能の確保

- ・オープンスペースの確保
- ・情報提供機能の確保

駅西口

● 駅西側エリアの特徴

- ・駅近くは、狭小で入り組んだ道路の沿道に、低層の戸建て住宅や中低層の小規模共同住宅が多数立地。
- ・松山総合公園が位置し、その西側には津田山、垣生山などの緑が連なり、瀬戸内海へ繋がる。  
山裾の平坦地に住宅や農地が広がる落ち着いたエリア
- ・齋院地区などに、長屋門など古い町並みが残る。

● 駅口・駅前機能

- ・一部の交通結節機能（JR～バス・タクシー、一般車送迎）
- ・西側住宅地の環境空間機能（公園等の溜り等）の一部
- ・西側市民、郊外居住者を中心としたアクセス

● 基本方針

- ◇ 「旧村・郊外に向けた、抜けのある大らかな構え」
- ◇ 「郊外の地域資源・素材の利活用による個性化」
- ◇ 「生活の駅としての、安全で人中心の歩行空間の実現」

※郊外の伝統的な農村文化を表現

注）城下側（東側）のイメージを使わないように配慮。

※生活空間の一部であることを考慮した、ヒューマンスケールの駅まち空間を目指す。

● 素材・空間イメージ（キーワード）

- ・素材：木（マツ、スギなど）、腰板壁・漆喰など
- ・空間：住宅地や近隣公園、街路等と繋がる細やかなアプローチ空間  
長屋門、農漁村など、落ち着いた雰囲気のある空間



共通

● 共通素材

- ・鋳物（県都の拠点としての品格づくり）
- ・木・緑（マツ（松山の名の由来）、ヒノキ（媛ひのき）、スギ（媛すぎ）など）

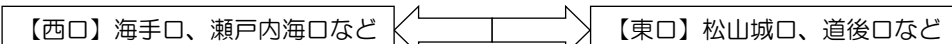
● 基本フォント：現在使用しているフォント（隷書体）など

● 広場の舗装案：石畳など（※市施工箇所）



出典：国土地理院ウェブサイト（https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1）をもとに加工。※2010年撮影

駅口名称の案



駅東口

● エリアの特徴

- ・駅近くは、宿泊施設や共同住宅等の比較的高層の建物と店舗が混在するほか、アミューズメント施設や市民病院、コミュニティセンターなど、区画の大きな施設が点在立地。  
奥には商業・業務施設の集積地が広がり、観光地も立地。
- ・駅前から直線に延びる大手町通りには、中央に路面電車が走り、城山公園の緑と石鎚山に連なる山並みが遠望される。

● 駅口・駅前機能

- ・県都の陸の玄関口（都市の拠点形成の場合）
- ・多様な交通処理機能（結節、収容）
- ・交流機能（待ち合わせ、賑わい）
- ・サービス機能（情報提供等）
- ・防災機能（活動拠点等）
- ・東側市民、来訪者を中心としたアクセス

● 基本方針

- ◇ 「旧城下町・大手町に向けた、風格のある空間づくり」
- ◇ 「松山城・堀之内に繋がる緑の軸と、県都らしさを体現する地域素材の活用」
- ◇ 「駅まちの新たな活動空間を広場で結ぶ歩行者ネットワーク」

※松山城関連及び県下全域の優れた県産品等素材を活用

※大手町通りと繋がる駅まち空間と横軸空間による拠点施設や交通広場との接続による利便性の高い空間づくりを目指す。

注）駅まち空間は、姫路駅と差別化を図る。

● 素材・空間イメージ（キーワード）

- ・素材：瓦（天守閣）、石、櫓、門、漆喰、水（堀）、土塀、並木（サクラ、イチョウなど）等
- ・空間：大手町通り・城山公園に繋がるダイナミックな空間  
賑わいを予感させる空間

